

## 産業建設 常任委員会

視察日 5月12日～13日

視察先 群馬県産材センター

ハイウェイオアシス藤岡

目的 群馬県最大の原木市場と製材加工施設を併設した県産木材振興の一大拠点の県産材センターと上越自動車道・一般道からもアクセスが容易な新しい形のリラクゼーションスペースの「ハイウェイオアシス藤岡」を視察

### ハイウェイオアシス藤岡

5月12日

上越自動車道1Cに隣接し、高速道路のパーキングエリアからも一般道からもアクセスが容易な同施設は平成12年4月に開設。

グルメプラザ南館は観光物産館で藤岡市や群馬県の特産品等の販売により、年間5億円の売上げをされている。

また、グルメプラザ北館では、上州茶屋（そば処）・食品・地酒等の販売をされている。

### 群馬県産材センター

5月13日

木材センターのある藤岡市は、関越・上越・北関東自動車道がクロスする交通の要衝となっている。最新の製材機械と徹底したコスト削減によつて高品質で価格競争力のある木材製品を安全供給。県産材の需要拡大により、森林所有者の意向向上をはかり、森林整備を促進することを目的として設置されている。

平成8年以降で、群馬県の原木価格は全国最低レベルであったが、県産材センターが稼動した平成17年度以降、全国平均を上回っている。今回の視察を通じて、ますます激化する産地間競争の中、更なる生産の向上、並びに流通コストの削減をめざすシステム整備が必要であり、林道・作業道整備、高性能林業機械の導入、施行の集約化など、積極的に進める必要があると思われる。



争の中、更なる生産の向上、並びに流通コストの削減をめざすシステム整備が必要であり、林道・作業道整備、高性能林業機械の導入、施行の集約化など、積極的に進める必要があると思われる。

